

3月30日：ベトナム株は続伸、VN指数は1,190ポイント付近まで上昇

午後の取引に入って大型株の買戻しからベトナム株は続伸した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.91%（10.68ポイント）高の1,186.36ポイントで引けた。値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、270銘柄が上昇、165銘柄が下落した。朝方、大型株に利益確定売りが出たことで上値を追う動きは限定的で、マーケットは不安定な動きとなった。

また出来高は依然として高い水準であり、売買高は7億8,073万株以上、売買代金は約16兆9,500億ドンとなった。

当初、バオベト証券のアナリストは顧客向けのデイリーレポートで「VN指数は1,180～1,185ポイントの下値抵抗線を試すため下落する可能性がある」と予想していた。

「全体的には、1,150ポイント付近のサポートラインから回復した後、同指数は1150～1,200ポイントで横ばいで推移している。この流れは短期的に続く可能性がある」（同証券会社）

「中小型株に資金は集中するだろう。大型株はある程度回復するだろうが、徐々に買い増しされるのが依然として主流となるだろう。」（同証券会社）

VN30指数も0.91%（10.8ポイント）高の1,190.86ポイントだった。同指数組入銘柄のうち12銘柄が上昇、そのうち1銘柄がストップ高をつけた。一方で8銘柄が下落、2銘柄は変わらずだった。

上昇率トップは、サコムバンク（STB）で6.77%の上昇。

不動産、銀行、素材関連株も引き続きマーケットの上昇に寄与した。上昇率トップ5には、ビンググループ（VIC）、マッサングループ（MSN）、ベトナム国際銀行（VIB）、サコムバンク（STB）、東南アジア銀行（SSB）が含まれた。

東南アジア銀行は先週水曜日にホーチミン市場に上場して以来、5営業日連続でストップ高をつけるなど優れたパフォーマンスを維持した。

一方で下落率トップは0.52%安のベトナム銀行（VCB）。小売りセクターは軟調だった。

ペトロベトナムパワー（POW）といった石油ガス関連株は朝方の世界的な原油価格の上昇にもかかわらず、朝方に急落した後に午後に値を戻した。

ハノイ市場では、大型株の上昇を追い風に HNX 指数が 1.8% 高の 281.14 ポイントだった。HNX30 指数は 2.17% 高の 415.47 ポイントだった。

国内投資家は 2 兆 7,800 億ドン以上を買い入れ、売買高は約 1 億 6,920 万株だった。

外国人投資家は 1965 億 5,000 万ドンを売り越した。ホーチミン市場では 2,869 億ドン 6,000 万ドンを売り越し、ハノイ市場で 766 億 7,000 万ドン、UPCOM 市場で 137 億 4,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。